



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月7日

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
コード番号 5726 URL <https://www.osaka-ti.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉崎 康昭

問合せ先責任者 (役職名) 理事経営企画部長 (氏名) 井田 義和

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	31,055	54.3	2,657		2,709		2,064	
2022年3月期第3四半期	20,129	79.6	1,328		1,135		1,166	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	56.11	
2022年3月期第3四半期	31.69	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2023年3月期第3四半期	80,462		28,150		35.0	
2022年3月期	76,586		26,509		34.6	

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 28,150百万円 2022年3月期 26,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		10.00			
2023年3月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	54.1	3,500		3,500		2,800		76.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	36,800,000 株	2022年3月期	36,800,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,495 株	2022年3月期	1,336 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	36,798,600 株	2022年3月期3Q	36,798,664 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する活動制限の緩和と経済活動の両立により、景気回復の動きがみられるようになりました。しかしながら、物価高騰や為替変動等、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。海外経済においても、ロシアのウクライナ侵攻による地政学リスクの長期化や資源エネルギー価格の高騰、サプライチェーンへの影響は続いております。加えて、世界規模でのインフレの進行や為替金融動向、中国におけるゼロコロナ政策の転換や半導体需要の落ち込みなど様々な変動リスクへの警戒が必要な状態となっております。

当事業におきましては、航空機需要の段階的な回復に加え、チタンのサプライチェーン再編によりスポンジチタンの需要は更に高まってきております。こうした中でチタン事業では、航空機用途向けが主体である輸出スポンジチタンの売上高が前年同期比52.4%増、一般産業用途向け主体の国内スポンジチタン等の売上高が同77.2%増といずれも大幅に改善し、チタン事業の売上高は27,967百万円（前年同期比60.4%増）となりました。

高機能材料事業では、半導体関連のスパッタリングターゲット用高純度チタンや球状チタン合金粉末の販売増加が継続したことにより、売上高は3,087百万円（前年同期比29.8%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、31,055百万円（前年同期比54.3%増）となりました。損益につきましては、チタン鉱石や電力価格の上昇といった悪化要因はありましたが、販売量の増加、価格是正、稼働率の向上等により、営業利益は2,657百万円（前年同期は1,328百万円の損失）、経常利益は2,709百万円（前年同期は1,135百万円の損失）、当期純利益は2,064百万円（前年同期は1,166百万円の損失）となりました。

(参考) 事業別売上高

(単位：百万円)

		当第3四半期累計期間	前年同期	増減率 (%)
チタン事業	国内	9,922	5,598	77.2
	輸出	18,044	11,840	52.4
	計	27,967	17,439	60.4
高機能材料事業		3,087	2,378	29.8
その他		—	311	—
合計		31,055	20,129	54.3

(注) その他欄に記載の売上高は生産を終了したポリシリコン事業に関する残存在庫の売却によるものです。2021年度にて全て販売完了しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は、80,462百万円と前事業年度末と比べ3,875百万円増加いたしました。これは、現金及び預金並びに固定資産が減少したものの売掛金及び棚卸資産が増加したことが主な要因であります。

②負債

当第3四半期会計期間末の負債の残高は、52,312百万円と前事業年度末と比べ2,235百万円増加いたしました。これは、未払消費税等が減少したものの買掛金及び未払法人税等が増加したことが主な要因であります。

③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は、28,150百万円と前事業年度末と比べ1,640百万円増加いたしました。これは、四半期純利益により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年11月2日公表の通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2023年2月7日）公表いたしました「2023年3月期通期業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,666	6,769
売掛金	13,507	17,526
商品及び製品	10,655	9,668
仕掛品	2,091	3,491
原材料及び貯蔵品	4,375	8,113
その他	223	109
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	41,515	45,675
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,058	8,893
機械及び装置（純額）	8,224	7,712
土地	14,823	14,823
建設仮勘定	543	1,186
その他（純額）	441	376
有形固定資産合計	33,091	32,991
無形固定資産	822	842
投資その他の資産	1,157	952
固定資産合計	35,071	34,787
資産合計	76,586	80,462

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,727	5,729
短期借入金	9,700	20,500
未払金	141	127
未払法人税等	71	512
未払消費税等	1,279	124
設備関係未払金	920	895
賞与引当金	215	97
その他	250	469
流動負債合計	15,306	28,455
固定負債		
長期借入金	30,800	20,000
資産除去債務	1,490	1,508
退職給付引当金	1,909	1,848
その他	571	499
固定負債合計	34,770	23,856
負債合計	50,077	52,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	8,781	10,478
自己株式	△10	△10
株主資本合計	26,454	28,150
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	55	—
評価・換算差額等合計	55	—
純資産合計	26,509	28,150
負債純資産合計	76,586	80,462

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	20,129	31,055
売上原価	18,321	25,222
売上総利益	1,807	5,832
販売費及び一般管理費	3,136	3,175
営業利益又は営業損失(△)	△1,328	2,657
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	15
為替差益	149	—
不用品売却益	93	140
受取賃貸料	28	29
雇用調整助成金	128	—
その他	19	75
営業外収益合計	426	261
営業外費用		
支払利息	131	142
為替差損	—	28
休止固定資産減価償却費	62	5
割増退職金	36	31
シンジケートローン手数料	1	—
その他	1	2
営業外費用合計	233	210
経常利益又は経常損失(△)	△1,135	2,709
特別利益		
投資有価証券売却益	—	93
特別利益合計	—	93
特別損失		
固定資産除却損	29	54
減損損失	—	260
特別損失合計	29	315
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△1,165	2,487
法人税等	0	422
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,166	2,064

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

年間の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(追加情報)

(ウクライナ情勢及び新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りについて)

前事業年度末に行った、ウクライナ情勢及び新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りに重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計
	チタン事業	高機能材料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,439	2,378	19,818	311	20,129
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,439	2,378	19,818	311	20,129
セグメント利益又は損失(△)	△962	△593	△1,555	227	△1,328

(注) 1 セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業損失とに差異は生じておりません。

2 その他欄に記載の売上高及びセグメント利益は、生産を終了したポリシリコン事業に関する残存在庫の売却によるものです。

当第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	チタン事業	高機能材料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,967	3,087	31,055	—	31,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	27,967	3,087	31,055	—	31,055
セグメント利益	2,397	260	2,657	—	2,657

(注) セグメント利益の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。